

I 平成29年度 事業計画書

1 内外経済の現況

平成28年度の我が国経済は、緩やかな回復期基調にあるとはされているものの力強さを欠くものとなった。1月にとられた日銀による異次元の金融緩和で、マイナス金利政策が導入されたものの、デフレ脱却の起爆剤とはなっておらず、金融機関の収益性悪化等様々な波紋が広がった。平成20年秋のリーマンショック、平成23年3月の東日本大震災及び福島第1原子力発電所の事故等による悪影響から徐々に脱却し、訪日外国人観光客の円安による割安感からインバウンド需要も増大してきた。これらへの期待も寄せられたが中国の海外土産品への関税政策もあり爆買いも一服感が見られた。また、4月には熊本地震が発生し、国外では中東情勢による欧州への難民の流入等も6月の英国のEU離脱の国民投票に影響を与え、一層欧州の景気回復の不安要因となっている。さらに11月の米国大統領選でのTPP離脱、アメリカファースト政策を掲げたトランプの予想外の勝利は、今後の世界経済の枠組み変更等を不安視する国々が多い。しかしながら株・為替動向は、米国の内需拡大への期待感もあり、株高円安が続いている。

総じて世界経済の動きとしては、米国経済は回復基調にあり金融引き締めの可能性も取りざたされる中、何より中国の経済成長率の低下が明確になっていく中、同国の内需喚起政策の動き等が注目される。

我が国でも、失業率や有効求人倍率の改善等雇用環境は幾分明るくなっているものの、今後企業業績の向上が働く人の賃金に反映されなければ、GDPの6割を占める個人消費の節約志向・低価格志向が続くものと思われる。東北地方での震災、熊本地震からの復興、復旧が進展し、企業業績の向上が働く人の賃金上昇につながって、我が国経済が本格的に回復し、世界経済が再び活性化することが待ち望まれる。

2 真珠業界の取り組み

我が国や世界で先行き不透明な経済状況が続く中、販売面では香港ジュエリーショーを中心に販売の拠点が香港におかれる状況は続くが、中国人バイヤーの日本産アコヤ真珠への関心が高まる等海外での日本産アコヤ真珠の「品質の良さ」や「品質への信頼」が再認識されてきた。そのため、中国経済の成長低下等の懸念も危惧されたが、為替の円安傾向も続く中、安定的な取引結果となった。なお、11月にインドによる裏経済一掃に向けた高額紙幣の使用禁止は同国との真珠取引への悪影響も懸念された。

そのような状況下で始まった今年のアコヤ真珠浜揚取引は、夏季の高水温等が必ずしも高品質真珠を生み出す環境条件とならず、価格的には生産者にとって前年度に比しシビアな結果となった。

このような中であればこそ「安心、安定、信頼」をモットーとして「品質の向上」「イメージアップにつながるPR、イメージダウンを避ける施策」を生産者、流通業者一体となって取り組むことが益々重要になると思われ、これを将来の生産発展につなげてゆくことが大切と考える。

振興会としてはこの点を重視して、生産技術の向上のために、様々な支援を実施

するとともに、国内市場に向けては、消費者へ正しく真珠を理解してもらえようとするための努力や、世界に向けては、日本産品の積極的な広報活動をしてゆくことが必要と考えている。加えて、28年6月には「真珠振興法」が成立し、29年度に「真珠養殖業等連携強化・成長展開事業」が新規予算化されたことを受け、公募にむけて課題提案書を提出し、予算を確保したうえで真珠産業に係る課題に積極的に取り組み、世界的な競争力のある我が国の真珠産業とすべく尽力していくこととする。

内外経済の現況及び真珠業界の置かれた状況を踏まえて、今後の真珠業界の再生と振興のため、上記新規予算と併せ以下の事業活動を実施していくこととする。

3 重点目標

上記1及び2に述べた情勢の下、わが国の真珠産業の維持・発展を目指して、本年度の重点目標を以下のとおり定め、事業活動を実施するものとする。

(1) 実施事業等会計

① 市場開拓及び需要拡大等支援事業

ア 展示会等への出展による市場開拓・需要拡大事業

東京、神戸で開催される国内の国際宝飾展において、パネル展示やDVDの放映による日本産アコヤ真珠のPR、高品質日本産アコヤ真珠の展示及び小冊子等の配布を行う。

また、香港等海外で開催される宝飾展においても真珠のすばらしさをPRし、中国人バイヤー等外国の人々へ日本の真珠への理解を深める。

また、ジャパングジュエリーフェア（JJF）における日本真珠輸出加工協同組合の出展を支援する。

イ 地域活性化事業

愛媛県真珠PRレディ募集事業、真珠婚おかげ参り事業、神戸パールパスポート事業、真珠祭事業等各地区で行われる真珠に関するイベント等の協賛やPR活動への支援を行う。

② 品質向上及び供給安定化等支援事業

ア 品質向上事業

・ 品評会関連

全国真珠養殖漁業協同組合連合会と共同で、全国真珠品評会、全国花珠真珠品評会を開催するとともに、愛媛県浜揚真珠品評会、三重県真珠品評会を支援する。

・ 養殖技術向上関連

変動の激しい自然環境の中で生産するアコヤ真珠の品質向上を図るために、三重県真珠養殖連絡協議会が実施する自動観測ブイ管理事業や愛媛県漁業協同組合連合会等が実施する宇和海水温観測システム事業を支援する。また、日本産アコヤ真珠の品質保持を図るために全国真珠養殖漁業協同組合連合会が行う高品質珠生産活動事業を支援する。

- ・ 新技術・新基準関連

優良母貝生産に役立てるため愛媛県漁業協同組合連合会等が実施する2年貝による挿核試験を支援する。

また、真珠の生産が国際的に広がる中で発生する各種の問題に対処するため真珠研究委員会を開催し、必要に応じて国際会議等に専門家を派遣する。

(2) その他会計

① 真珠検定事業

従来曖昧だった真珠についての価値基準や諸説を整理し、真珠の美しさをより多くの人々に伝えることを目的として、本年度も真珠検定事業を本格実施する。

この検定をきっかけに自分に似合う真珠を知り、自信を持って選び身につける楽しさを得る人々が増えることを目指す。本事業によって得られる資格には、JA(ジュニアアドバイザー)、SA(シニアアドバイザー)、SP(スペシャリスト)の3種がある。

② 普及啓発事業

日本の特産品である真珠の持つ多面的な価値を広く普及・啓発するために、一般消費者からの質問、相談に積極的に対応する。

また、雑誌の有する普及啓発効果を再認識して、特別企画を掲載するとともに、新聞等のメディアによる広報宣伝、ホームページの活用、パンフレットの作成、入札や生産流通に関する委員会の開催等々、幅広く実施する。

③ 真珠養殖等連携強化・成長展開事業

平成29年度の新規事業として、真珠振興法の成立を受けて国で新規に予算化された事業であり、当会としてこの公募に課題提案して予算確保するものである。この予算は、真珠の生産から市場・流通・販売に至る各層の連携強化を図り、連携協議会や各部会を開催し、行動計画の策定を通じ真珠振興を図っていくものであり、この予算を活用し真珠振興を進めていくものである。ついては、行動計画検討に必要な資料収集・分析、データベース化等を行うとともに、真珠養殖業等の次世代を担う人材の認定をし、その活動に要する経費を助成していくものであり、国の定額予算に自己負担を加算して、我が国真珠産業の国際競争力の強化を図るものであり、高い優先度をもって取り組むこととする。

④ 水産物輸出拡大事業

バイヤーが最も集まる機会の一つである Hong Kong Jewelry & Gem Fair において、日本の真珠及び真珠加工販売が取り扱う真珠を紹介するレクチャーを主体に真珠輸出促進セミナーを開催し、日系業者の取り扱う真珠取引が安全・安心・信頼に裏打ちされたものであることをアピールし、長期的な視点での、輸出販売増進・拡大を目指す。

(3) 法人会計

総会及び理事会において、振興会の活動について活発な審議・検討を行い、振興会の重要事項の決定を行うとともに、振興会の事業と活動の全般にわたり、積極的な対応を行うための各種振興対策を推進するために「真珠振興議員連盟」との連携強化を図る。

また、会員相互の意思疎通を図り、定款の目的に沿って真珠業界全体のために振興会の運営と事業活動の円滑な推進を図る。